

CASE 3 FUN LIFE CENTER BUILDING

生きるよろこびを育む地域交流の場



ABOUT FLCB

子ども、大人、高齢者、障がい者、外国人。様々な人が住む地域の中に世代や目的を越えてどんな人でも気軽に立ち寄れる居場所を作りたい。目指すのは行政に頼るのでもなく、社協に任せるのでもない、民間だからこそできる「自由な公共」。子どもにとっては遊び場、生徒には学び場、学生には体験の場、若者には経験の場、中壮年には社会貢献の場、高齢者には生きがいの場として、すべての世代に生きるよろこびとつながりをもたらす場にしていく。



「生きる」ことを「楽しむ」ことを支援し、支援されること

あさのクリニック院長 浅野直

医療と介護の狭間で行くところがない人たちが、生きるよろこびや楽しみを感じられる場所を作りたいという思いが学生時代からあった。もともとは高齢者に向けたものを考えていたが、そこからその周りの人たちにも広がっているんな世代の人が交流できるようになってほしい。子どもたちも、集っている人の多様な価値観の中で関わりあいながら育つことで強くなっていくと信じている。

サポートします！
ソフトからハードまで工務店として

計画

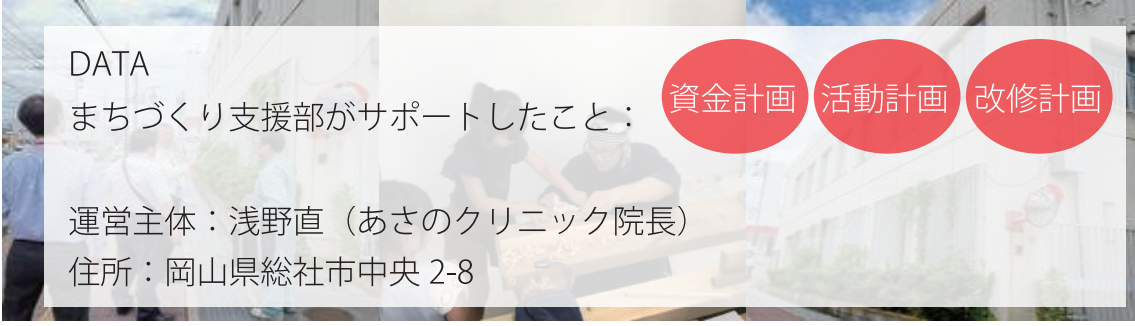
- ・地域の巻き込み
- ・活動の段階的発展を見据えた計画づくり

資金

- ・補助金に関する情報提供、アドバイス

改修

- ・活動ステージに合わせた改修工事
- ・資金計画に合わせたサポート



DATA

まちづくり支援部がサポートしたこと：

- 資金計画
- 活動計画
- 改修計画

運営主体：浅野直（あさのクリニック院長）

住所：岡山県総社市中央 2-8

生き物のように成長する箱（ビル）

改修の過程

●空きビルを FLCB へ（第 1 期工事）



2F は災害対応として緊急で工事したが継続して使えるように無垢材を用いて床張りなど最終形の工事を行った。1F は今後改修を進めていくので電気工事のみの最低限度の整備に留めて利用者で壁の装飾をしている。

●今後の改修計画（～第 2 期工事）



今後行う第 2 期工事ではワークショップも交えて FLCB に関わっていく人たちが自分たちの意見を反映して場づくりができるように進めていく予定。1 階部分は壁を取り払い、開けた空間にしていく。

定期（不定期）イベントの開催からいずれは様々な常設コンテンツを備えたフレキシブルな空間に

●イベントの開催（現在）



FLCB を使って豪雨被害に遭った子どもたちが大工さんと一緒にお箸を作るイベントや、ヘアカットをしてもらうイベントを開催している

●将来的な常設コンテンツ（案）

- ・そうじゃマルシェ
季節の無～減農薬野菜や地域の家庭菜園からの持ち込みを置くマーケット。
- ・オバちゃん惣菜
日替わりランチを曜日ごとのチーム交代制で提供する。
- ・バーバあおの BAR
おすすめの飲み物を一杯だけ提供するとともに健康チェックをする場にする。
- ・めしくったか？
子ども食堂機能付きの宿題スペースで宿題が済んだらめし食って OK。